

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。

研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

<研究課題名>

乳腺小葉癌における CDH-1 遺伝子および関連因子の検討

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 病理診断科 (研究責任者)唐 小燕

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2018 年 6 月 30 日

<研究の目的と意義>

乳癌の中に、浸潤性小葉癌と浸潤性乳管癌の鑑別診断は、患者治療計画の制定や予後予測に大変重要である。一方、乳癌の組織診断において、浸潤性小葉癌および浸潤性乳管癌の鑑別診断は、困難になる場合がある。今回、われわれは、乳腺小葉癌における E-cadherin 遺伝子 CDH-1 (16q22.1) 異常の検出方法を検討することを目的とした。また、その検出方法が確立すれば、日常の病理鑑別診断に、大変有意義と思われる。

<利用する試料・情報の項目>

乳癌症例のホルマリン固定パラフィン包埋の組織切片を使用。症例の個人特定をできないようにデータを作成を行う。

<対象となる患者さん>

西暦 1980 年 1 月 1 日～西暦 2016 年 6 月 30 日の期間に乳癌と診断された方。

<研究の方法>

1980/1/1-2016/6/30 まで、日本大学医学部板橋病院病理診断科にて診断された乳癌症例のホルマリン固定パラフィン包埋の組織切片を用いて検討する。E-cadherin 蛋白の発現およびその発現異常を引き起こす原因として、E-cadherin の遺伝子 CDH-1 (16q22.1) の変異、欠失などを検索する。蛋白質レベルの同定は免疫組織化学法 (免疫染色)、mRNA レベルの同定は逆転写ポリメラーゼ連鎖反応 (Reverse Transcription Polymerase Chain Reaction, RT-PCR 法)、DNA レベルの検索は、CDH-1/CEP16 の Due-color Fluorescence in situ hybridization (Due-FISH)法および Digital PCR 法にて行う。

<外部への試料・情報の提供等>

CDH-1 の DNA 定量は、共同研究機関の神奈川県立がんセンターの測定機器を利用して測定する。サンプルは、実験当日に持参し、患者情報などは一切渡らない。

<研究組織>

共同研究機関：神奈川県立がんセンター臨床研究所 部長 宮城 洋平

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

病理部 氏名:唐 小燕

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2256 (PHS)8644